

# 広報 やまこし

1987  
12月  
第234号

発行/山古志村役場 947-02 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙461 ☎(0258)59-2330(代) 編集/総務課 印刷/大川印刷株式会社 12月1日発行



歳末たすけあい運動 (12月1日~31日)

## お知らせ

### 給与所得者の税

サラリーマンの給料やボーナスには所得税がかかります。この所得税は、給料やボーナスなどの支払を受けるときに源泉徴収されることになっていますので、自分の税金がどのように計算されているのかよく分からないという人もなかにはおられるでしょう。

そこで、サラリーマンと給与に対する所得税について、説明しましょう。

一年間の給与所得に対する所得税の計算

サラリーマンが支払を受けた給料やボーナスなどは給与所得になります。

一年間の給与所得に対する所得税は、まず、その年に支払を受けた給料やボーナスなどの収入金額から必要経費などの性格をもって「給与所得控除額」を差し引

＜年末調整＞

毎月源泉徴収された所得税の一年間の合計額と、その年の給与総額に対する正規の年税額とは扶養親族等の異動や生命保険料控除があった場合などの理由により、一致しないのが普通です。

そこで、その年最後の給料やボーナスが支払われるときに、毎月源泉徴収された所得税の合計額と一年間の給与総額に対する年税額との過不足額の精算が必要になります。この精算手続を「年末調整」と呼んでいます。

＜サラリーマンの確定申告＞

一般のサラリーマンは、年末調整によってその年の所得税の納税が完了することになりますので、改めて確定申告をする必要はありません。

しかし、給与の年間収入金額が一五〇万円を超える場合や、給与所得や退職所得のほかに二〇万円を超える所得がある場合などは確定申告をしなければならないことになっています。



▲ワッショイ/ワッショイ/と、みこしもくり出しました。

▲つきたての粟もちをどうぞ

母ちゃんたちが丹精こめた、「つけ物」、「落花生」、自然乾燥のコシヒカリもあります。



▲牛も親子で参加



## 昭和三十九年度 単村 ほ場整備 農道舗装

村単補助事業の「ほ場整備」、「農道舗装」の六十三年度分申し込みを受け付けます。希望者は、十二月末までに、建設課へお申し込みください。(申込用紙は、建設課に用意してあります)

この補助事業は、村の地形に見合う小規模な「ほ場整備」と急勾配の「農道舗装」を行うことにより、農業経営の近代化を進めようとするものです。

補助率は、二〇% (ほ場整備) と三〇% (農道舗装) ですが、次の基準を満たしていなければなりません。

▲ほ場整備 (補助率二〇%)

- ①個人または共同で、一団地二〇アール以上 (水張り面積)。
- ②畦畔の土羽勾配は一割、築立の内法は八分、外法は一割以上、天端幅は一メートル以上。
- ③ほ場整備に付帯して農道を作る場合、起点は国、県、村、農林道とし、延長二〇〇メートル以内で車両通行可能なもの。
- ④起点が三メートル以上の国、県、村、農林道に接続していること。
- ⑤舗装はコンクリート (アスファルトも含む) で、厚さ五〇センチ。ただし、側溝伏設、路盤整正工、打設は補助対象外とする。
- ⑥補助対象経費は、材料費 (コンクリート、アスファルト) とする。

▲農道舗装 (補助率三〇%)

- ①個人または共同で、受益面積五〇アール以上。
- ②一路線一〇メートル以上二五〇メートル以内 (部分舗装も含む)。
- ③幅員三メートル以上 (有効幅員二メートル) で勾配一五%以内。
- ④起点が三メートル以上の国、県、村、農林道に接続していること。

※申し込み、詳細については、建設課へお問い合わせください。



申し込みは 12月末日までに

④水源 (井戸、ため池等) は、補助対象外とする。



11月3日

## 村のまつり 産業まつり

参加

熱気に雨も上りました

人口の動き (62.10.31現在)

■人口 3,201人(±0) 男 1,615・女 1,586 ■世帯数 837(±0)

■10月中のうごき □出生 4 □死亡 3 □転入 4 □転出 5

# 高橋生二さん

## 叙勲

### 勲五等 瑞宝章

六十二年秋の叙勲で、高橋生二さん(種芋原)が自治功労賞として「勲五等・瑞宝章」を受けられました。

高橋さんは、三十歳の若さから村議会議員を二十二年。その後村教育長を六年、さらに村助役を八



高橋生二さん

年と続けられ、この間村消防団長も十四年間歴任されるなど、四十年近く巨り自治行政に貢献されてこられました。

「これもみなさまのおかげです」と謙遜される高橋さんですが、十一月二十五日には皇居に行かれ、陛下接見の儀に臨まれ、陛下のお言葉とともに叙勲を受けられました。おめでとうございます。

## 山古志村 功労者褒賞

この表彰は、村の発展や住民福祉のために村民の模範と認められる人や、村行政に積極的に協力された人に与えられるものです。

受賞された人は、次のとおりです。(敬称略)

- 商工業発展のために(商工会役員として二十年以上)
  - ・星野一夫 (竹沢)
  - ・長島清治 (竹沢)
  - ・藤井虎雄 (東竹沢)
- 産業振興のために(四十一年以上出稼就労に貢献)
  - ・小林梅野 (小千谷市)

村のほう賞条例に該当する人たちが、十一月三日(文化の日)に役場で表彰されました。

- 村勢伸展のために
  - ・坂牧辰治 (種芋原)
  - ・星野三男三 (竹沢)
- 農業者として十五年以上(農業委員会として十五年以上)
  - ・長島寅三郎 (虫亀)
- 固定資産評価審査委員として十六年以上)
  - ・星野勇 (竹沢)
- 消防・防災のために(消防団員として二十年以上)
  - ・小川和 (種芋原)
  - ・関 稔 (竹沢)
- 村行政の発展のために(村職員として二十五年以上)
  - ・田中勇次(虫亀、去勢 @二、二九二円)

## 山古志牛・枝肉共進会

十月二十九日(木)に、東京食肉市場で行われた枝肉共進会。出品牛20頭。出品者と関係者一八人は、前日夜マイクロボスで東京まで出かけて行われました。

出品牛は、去勢八頭雌二二頭。平均体重五九〇kg、平均枝肉重量三五六kg、平均歩留り六〇%。平均単価二、〇四七円。平均販売価格七二八、〇〇〇円。

全体的には上下差が少なく、昨年比「やや良」でした。

肉質、肉色、脂肪交雑等が綿密に審査され (以下敬称略)

■最優秀賞

高橋富作(桂谷、雌 @二、四〇二円)



寒い冷蔵庫内で、熱心に肉質を確かめる出品者

- 優良賞
  - ・畔上完二(檜木、去勢 @二、二九二円)
  - ・田中勇次(虫亀、去勢 @二、八千円)
- 高額賞
  - ・田中博(虫亀、去勢 一、〇〇〇円)

二二七円  
青木行雄(池谷、雌 @二、三二六円)

畔上完二(檜木、去勢 @二、二七二円)

田中博(虫亀、去勢 一、〇〇〇円)

# 小川ヨノさん

## 母子保健推進 功労者表彰

### 功労者表彰

昭和三十八年から二十年以上にわたり、「母子保健推進員」として活動を続けてこられた小川ヨノさん(種芋原)が、新潟県母子保健推進協議会から功労者として表彰を受けました。



小川ヨノさん

「母子保健推進員」とは、保健婦と連携をとりながらその片腕として、妊婦と乳児の保健推進についてより身近な相談役となり世話をする仕事です。

現在は、交通・通信の便もよくなり、医療機関が身近になりました。しかし、三十年代ころはこれらの条件が悪く、また、現在と違って産児数もはるかに多かったです。め相談も多く忙しい毎日で、特に吹雪の時の訪問相談は大変だった

ということですが、この無報酬の仕事を二十年以上も続けてこられたのは、「人に頼まれると断れない、そして人からノクソ真面目」と言われる性格と、家族の協力があつたから」と小川さんは笑っておられました。

小川さんは、種芋原の小学校を卒業してから東京に出て、働きながら東妻明倫女学校(三年)を卒業。しかし向学心はこれであきらず、さらに専修課程(三年)をも修学され、この間六年間一日も休まずに通学したという大変な勤勉・努力家です。

その後、種芋原の小川与一さんに嫁いでは、その人望・能力を周囲から認められ「母子保健推進員」の他に地域の婦人たちの生活改善グループのリーダーとして活躍してこられました。小川さん手づくりの「そば」、「漬け物」等は味の良さと幅広いファンがあちこちにおり、秋にはこれらを送って、多くの人たちから喜ばれているそうです。その他農家に不可欠な「山笠」作りの名人としても有名ですが、もう何年も値上げせず、「損得でないから」と言いながら作っておられます。今後、いつその活躍を期待いたします。

# 種芋原の 活性化事業

## 知事賞を受賞



青木区長さん

生産性の高い農業の確立をめざし、地域において優れた農業経営や生産活動を行っている、中核農家・集団・集落に対し授与されている「新潟県優良農業経営等・知事賞」。種芋原集落の行った「山村農業活性化事業」が優秀と認められ、農業集落の部で受賞しました。主な事業内容は、農産物処理加工場の建設・加工用機械の導入。そして、これらを利用しての特産品開発。さらに水田基盤整備(二・八ヘクタール)等を集落をあげて実施しました。

## 工業統計調査にご協力を

十二月三十一日現在で、工業統計調査が行われます。対象事業所には、一月中に調査

○最高歩留賞

川上正春(木籠、雌、六三%)

という結果でした。審査をされた東京食肉市場の星野部長さんの審査講評は、(均称・肉がバランス良くついているかについては、問題なし)、(肉付・目方が少ない)、(脂肪付着・ムダ脂肪が多い、特に背中)、(脂肪交雑・問題なし)、(肉色・かなり改良されている、脂肪質・まあまあ)、(キメ・シマリ・より手をかけて綿密な管理を)、(ロス・小さいものが多い)という内容でした。

員が伺います。趣旨をご理解のうえ調査にご協力くださるようお願いいたします。

最優秀賞・高橋さんの肥育方法は、春に一〇カ月齢二五〇kg程度の素牛を導入。秋まで屋外で飼育。この間、青草と濃厚飼料を充分に与え、運動をさせる。降雪前に畜舎に入れ、高カロリー・高タンパク質の餌を多給。翌春から仕上げ期に入り、秋には出荷します。

この方法は、肥育期間が約一年半と短いことです。それでも肉質が良いということは、一考の余地があるのではないのでしょうか。その他、ふたん心がけていることは、「毎日牛をこすったり、削蹄に注意したりと、牛にストレスを与えないようにしている」ということ

## 献血にご協力 ありがとうございました



11月4日の献血で、次の人たちからご協力をいただきました。(敬称略)

○印は400cc採血者

- 竹沢
  - 関 稔
  - 関 幸雄
  - 高野キユ
  - 小池順子
  - 高野秀明
- 高橋信子
- 星野フジエ
- 佐藤誠一
- 星野信一
- 星野真砂子
- 星野清剛
- 川上敏郎
- 高橋武俊
- 星野秀雄
- 小川勇二

- 南平
  - 畔上多作
  - 青木裕子
  - 畔上 暁
  - 齊藤かおる
  - 畔上哲也

- 虫亀
  - 峰村 功
  - 佐藤丈平
  - 酒井一郎
  - 石原里志
  - 齊藤ハル子

- 種芋原
  - 坂牧イミ
  - 樺沢恵子
  - 小幡フミ
  - 小川善幸
  - 坂牧春幸
  - 酒井正文
  - 樺沢和子
  - 小川和子
  - 高橋由美子
  - 加藤秀晴
  - 坂牧忠雄
  - 小川英幸
  - 小川春美
  - 小川作男
  - 米岡祐三
  - 樺沢勝男
  - 山口 博
  - 坂牧二三子
  - 小川信広
  - 小沢和之
  - 風間真由美
  - 坂牧幸恵
  - 坂牧正人
  - 山内義雄
  - 樺沢政子
  - 坂牧久美子
  - 樺沢美由子
  - 金内美佐子
  - 小川六一
  - 佐藤幸夫
  - 坂牧滝衛
  - 草間幸喜
  - 小川江里子
  - 坂牧直代
  - 坂牧和栄
  - 樺沢吉章
  - 小幡清美
  - 金内靖子
  - 坂牧真由美
  - 佐藤由香子

- 東竹沢
  - 上田清作
  - 藤井 勝
  - 小川喜太郎
  - 高野 進

- 村外
  - 小川美佐子
  - 影山勝広
  - 佐藤 敦
  - 山屋和裕
  - 森山さとみ
  - 五十嵐博
  - 小林梅野
  - 菊入 淳
  - 坂牧良一
  - 関 耕司

今回ご協力をいただいた人79人

## 12月の 納税・保険料

- ★固定資産税(3期)
- ★国民健康保険料(12月分)
- ★国民年金保険料(12月分)
- ★保育料(12月分)

# 雨ニモマケズニ ガンハッタ 産業まつり



いらっしやい／(山古志村農協)



「民芸品」、ミニ俵、しめ飾り、宝船、ワラソウリなんでもあります

全村民参加といえる「産業まつり」。今年も十一月三日(文化の日)に、役場前を主会場に開催されました。最近、毎年晴天に恵まれてきたこのまつり。今年も前日まで、会場づくり、出品準備等万端整えて、あとは当日の晴天を祈るだけ。

しかし、残念ながら当日は朝から雨。ちよつと氣勢をそがれました。でも、山古志村民は雨などに負けてはいません。開会と同時に大賑い。あらゆる村の産物を展示、そして廉価に即売するこのまつり、村外からの固定客も多いようです。山芋がたちまち売り切れ。豆、小豆を買い占める人も。おかあさんたち手作りの漬物類もたくさんあります。桂谷農家組合の「粟もち」は、例年の高い人気に比べて、今

年も会場でもちつき実演。どんとんつきまくり、パックに入れて販売しました。山古志産の牛肉・牛乳もあります。牛肉は三百キロを販売、牛井も大人気。錦鯉もいます。民芸品もあります。子供たちには風船のサービス。そして、お面をかぶったおねえちゃんやジャンケンポンで勝つとお菓子がもらえます。みこしもくり出しました。会場中央には大きなたる酒が置かれ、入場者に大盤振舞。車庫内では、バザーが開かれました。寒いので、そばとお酒のセットが人気。村民会館内で開かれていた、「村民文化展」にもたくさんのお客がいました。



ジャンケンポン、勝つとおやつがもらえます



▲ 絵、書、写真、手芸、工作等の優秀作品が展示された村民文化展

## 村民文化展 に出品され た子どもた ちの作品



「畑仕事」種芦原小学校六年 榊沢千鶴さん



▲「鯉のたわむれ」竹沢小学校 五年 星野良子さん



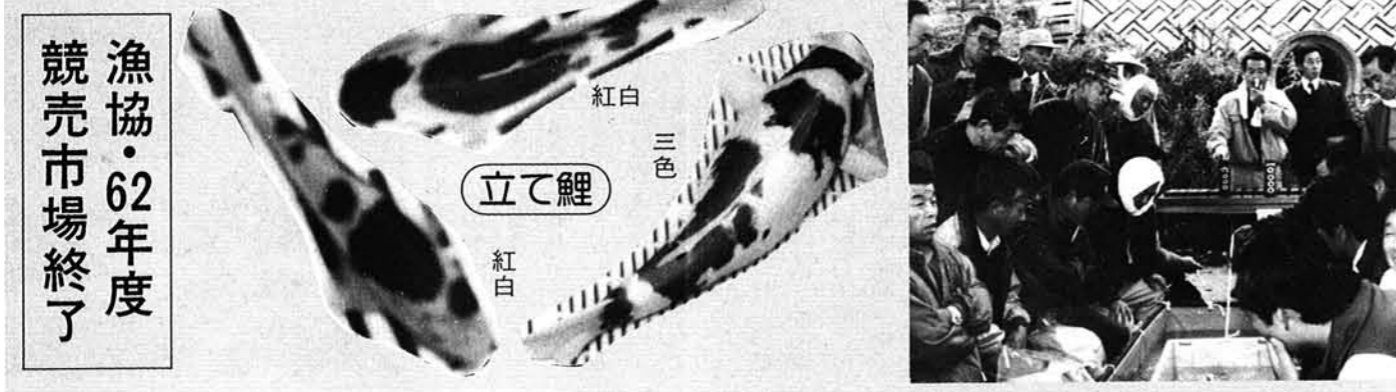
▲「自画像」虫亀小学校四年 田中幹人くん



▲「書道」池合小学校 右から  
三年 畔上郁恵さん  
三年 齊藤光徳くん  
四年 畔上真人くん  
四年 畔上久美さん

## 来年に向かって「立て鯉競売会」

虫亀鱗友クラブと竹沢(下村)地区の錦鯉飼育者有志が、錦鯉シーズンも終りに近づいた十一月五日(竹沢)と六日(虫亀)に、米用の錦鯉(立て鯉)を主にした競売会を開きました。錦鯉は、飼育者・愛好者の好みや飼育池の条件等で、十〜十五cmの小さいものから七十〜八十cm級の超大物まで、それぞれ愛好されています。しかし、女性に娘盛りがあるように、錦鯉も三〜五歳のころが一般的には一番きれいで娘盛りといえるのではないのでしょうか。このため、どちらの競売会も出品されたのは、「立て鯉」ということで娘盛り前の一〜三歳が主体です。娘盛りの見込めない雄鯉は残念ながらあまり人気がなく、雌鯉でもあまり化粧の強いのは敬遠されがちのようです。人気の高いのはやはり、「色白で、素質が良く、化粧のない、気品のある」、将来美人となる要素の多い錦鯉です。いずれの競売会も天候には恵まれないなか、村内はもちろん県外客も多数参加して、熱気があふれる中で、「二万円/三万/五万/」と三段飛びで価格の上昇が約二百尾の出品で一千万円近い売り上げがあったようです。来年の仕上りに「乞うご期待」。



山古志漁協の行っている、「錦鯉競売市場」が十一月十七日(火)に今年春から三十六回目の競売を終え、市場を閉鎖しました。低迷ぎみの錦鯉業界の中で、出品舟数・売上金額とも昨年よりやや上回ったということですが……。最近、錦鯉飼育者も専門化が進み、経営も大規模化していますが、飼育者数は減っています。以前は村内全戸が飼育者と言えらるぐらいで、秋になるとこのイケスも泳ぐ宝石でいっぱいでした。しかし最近、あちこちに空っぽのイケスが多く見つけられます。今後を考えた場合「産地山古志村」としては、この辺でもう少し飼育者の増加を図り、底辺を拡大する対策を考える必要があるのではないのでしょうか。



漁協・62年度 競売市場終了

役場・診療所の 年末年始休暇  
年末・年始休暇を次のとおり実施いたします。戸籍関係等の急用は、当直の職員にお申し出ください。  
● 年末・年始休暇  
〈役場〉  
十二月二十九日から一月三日まで  
〈診療所〉  
十二月二十九日から一月四日まで。



即席の牛井屋さんも大繁盛 (肥育牛生産組合)



これも芸術「大輪菊」

普及所から

農改コーナー

大豆をおいしく食べましょう

大豆はたくさんのたんぱく質・植物性油を含み、カルシウム、鐵分、ビタミン類も豊富です。

大豆の脂肪は、動脈硬化や高血圧の原因となるコレステロールをとる働きがあります。

栄養価の高い大豆を、おいしく料理してたくさん食べましょう。

大豆のカレー煮

大豆 一カップ

りんご 二個

さとう 軽く一カップ

塩 小さじ1/2杯

カレー粉 小さじ一杯

作り方

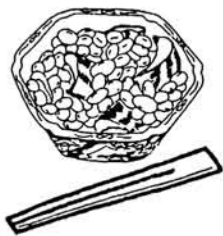
①大豆はよく洗い魔法びんに入れ熱湯を加えて一晩おく。

②①の大豆を水切りし、鍋に入れてお湯をひたした中に入れて柔らかく煮る。

③りんごの皮をむき、薄く切って入れる。

④さとうを三回に分けて入れ、汁がなくなるまで煮る。

⑤塩とカレー粉を加える。



大豆と身欠きにしんの炊き合せ

材料

ゆで大豆 二・五カップ

身欠きにしん 三本

さとう 一カップ

しょうゆ 1/2カップ

みりん 大きじ三杯

作り方

①身欠きにしんは米のとぎ汁にひと晩つけ、うろこを取ってきれいに洗う。そして三つか四つに切っておく。

②ゆで大豆に、お湯をひたひたに入れ①の身欠きにしんを加えて弱火で煮る。さとうを二・三回に分けて入れ、みりんも加えて煮る。

③豆に十分甘味がしみて柔らかくなったなら、しょうゆを加えて煮上げる。

大豆のサラダ

材料

ゆで大豆 一・五カップ

スイートコーン 大きじ五杯

干しぶどう 大きじ二杯

大根 一〇センチ

人参 ①一本

マヨネーズ 一カップ  
塩 こしょう

作り方

①具(材料)はそれぞれさいの目切りにしておく。

人参はさつとゆでる。

②材料をボールに入れ、塩・こしょう・マヨネーズで和える。

③その他有り合わせの材料を何でも使える。

※野菜の切り方をいろいろと変えたりして、盛りつけを楽しんでください。

どの料理も

おいしいですよ

三古農改・長岡班

自慢の紅白

毎年、優秀な紅白を生産している、檜木の畔上勝太郎さん。十一月中旬の小春日和の午後、イケスにおられた畔上さんから話を伺いました。

産卵させるのは紅白だけ。越冬に自信が持てないので、秋に揚げた当歳は大半を販売するそうです。昨年一昨年も、村の品評会の当歳(一部)紅白の部で優賞。入賞

鯉の競売でも、高い値で売れています。夏の水管理が悪かったのか



畔上勝太郎さん

と、今年も鯉の具合が少し悪いようですが、それでも遠方からたくさんのお客さんが訪れるようです。「田んぼよりは鯉を飼った方が収益が多い」と畔上さん。紅白のメーカとしての地位を確立したようです。

現在の親の組み合わせは、偶然にできたとのこと。以前、畔上さんの父親(故人)が紅白の雌と三色の雄の組み合わせで産卵させていたのだそうです。それがある年に雄の三色が突然死に、やむなく別の紅白の雄を組み合わせで産卵させたところが、その年から良い紅白が出るようになったとのこと

です。それ以来、二十年近くも同じ組み合わせで、紅白を生産しているそうです。二十年という長いようですが、「鯉は人間より長生きするからだから」と畔上さん。これからも親鯉を大事にして、良い紅白を生産してください。

混成バレーボール大会

種芋原ローヤルチームが優勝

出場資格が男女混成チームという、混成バレーボール大会。十月二十六日から十一月二十日にかけて、それぞれ苦心のチーム編成をした十チームが参加して戦われました。

この結果、優勝は種芋原ローヤルチーム、準優勝は三ヶチム、三位へ東竹沢チームとなりました。



種芋原ローヤルチーム

来年(63年)の

保育所入所

申込受付

来春(六十三年度)の、保育所入所希望児童の申し込みを受け付けます。希望者は、お申し込みください。



対象者

家庭で保育する両親や祖父母等が、就労・病気などにより保育ができないため入所を希望する子ども。

受付期間

十二月一日～十五日

申込場所

役場(住民課)

出張受付

12月9日(水) 種芋原保育所

12月10日(木) 虫亀 保育所

12月11日(金) 竹沢 保育所

※申し込みには、印鑑と保険証を持参ください。

よく見よう

あなたの税金

あそこにも

坂牧 淳也

税金を

正しくおさめて

明るい毎日

川上 恭代

関東信越国税局が募集した税に関する標語に、村内の中学生が作品を応募した結果、二点が優秀作品として「長岡税務署長賞」を受賞しました。坂牧淳也君は、種芋原中学校一年生(日出男さん方)、川上恭代さんは、山古志中学校三年生(春雄さん方)です。

日々雑感

師走

暖かい日が続いていつもの年のような寒さで暗い晩秋とは違った感じの中で静かに初冬へ、そして師走に入ろうとしている。

毎年のことながら今頃の時期になると、ぎっしり詰った日程の中に更に割り込みが入ってくる。年の暮れが近くなると忙しくなるのは昔も今も変わらないようだ。

産業まつりも盛況で終り、今年最後の開牛会で足の骨を折る大怪我をして、救急車で病院に運ばれ手術治療を受けていた東京の友人が、先日退院して帰って行った。

年の暮れの大事な時期を棒に振って、ギブスをしたまま不自由な日々を過ごすことを思うと気の毒でならないが、本人も家族も屈託がない。入院中に十二脂腸と胃の一部に潰瘍が発見されたが幸い悪性ではなかった。日頃丈夫にまかせて医師にかかった事がないだけに、検査の結果を聞くまでは可成り不安だったようだ。諺通り、怪我が功名で、早期に発見することが出来て特に忙しい年末の過労や不摂生を未然に防ぐことが出来、かけがえない健康を大切に出来る機会を与えてもらったと、感謝する彼

村長酒井省吾

の心の持ち方に学ぶものがあつた。今日担当課長から今年の「ガン検診」の結果について報告を受けた。早期発見早期治療が肝要なので更に検診の啓蒙につとめなければならぬ……と。

師走になると思い出す。馬車よ、ゆっくりと走れ」という松原泰道師の、般若心経を易しく教えて下さる巻頭のお話である。

今から六〇年ほど前、ドイツにテイルという奇人がいた。ある朝、田舎道を猛烈なスピードで馬車を飛ばしてきた旅人が、次の町までどの位時間がかかるかと聞く

と彼は、ゆっくりゆけば四、五時間、急ぐと一日、と奇妙な答え方をした。旅人は怒って前よりも増したスピードで飛ばしたところ、途中で車輪の心棒が折れ、其の修理に手間取りテイルのいうとおりたつぷり一日かかったという。

忙しいという字は、(リッピン偏)に亡、心が亡くなったさまを現わす字だといわれます。多忙すぎて心棒を飛ばさないように、と諭されています。

忙しい年の暮れを、せめて心にゆとりと、健康に留意しながら、新しい年に備えたいものです。